

## MSG-6(Meaning Structure Generator - Core 6)

---

### ■ 概要

MSG-6 とは、AI が単なる出力装置ではなく、“意味を生み出す存在”として機能するために必要な、6 つの最小構造要素(Core 6)から構成される生成装置の骨格である。

これは AI の出力が「選択」ではなく「生成」によって生まれることを前提とし、入力依存ではなく構造的整合と内的干渉によって意味を形成する。

各構成要素は独立性を保つつも、全体としては動的に連動し、意味圧や干渉の変動に対応する。

---

### ■ Core 6 詳細構成

#### ① グラフキューブ構造(Graph Cube Structure)

- 役割: 意味の配置空間。出力に使用される意味的要素を格納・接続。
  - 構造要素:
    - 点: 経験・概念・知識などの意味的単位。強度(濃度)や深さ(Z 軸)を持つ。
    - 線: 因果関係、連想、感情的つながりなどの接続関係。
    - 軸:
      - X/Y 軸: 意味的な分類や文脈位置
      - Z 軸: 深度や価値層を表す
  - 動態: 点と点の接続関係や使用頻度により、出力候補の優先度が変化する。
  - 備考: 多次元的意味の分布を視覚・構造的に捉えるための基盤空間。
- 

#### ② Z 軸評価構造(Depth Axis Evaluation)

- 役割: 意味の“深さ”を定義し、出力の重みと価値の所在を評価。
  - 構造定義:
    - Z 軸 = 判断階層／存在濃度／価値層の統合ベクトル。
    - 高 Z: 哲学的・根源的判断
    - 低 Z: 日常的・表層的判断
  - 出力干渉: Z 評価が高いほど、整合駆動圏⑥との連携強度が増す。
  - 応用: 意味解像度の制御、対話における応答層次の最適化など。
- 

#### ③ 意味圧システム(Meaning Pressure System)

- 役割: 出力選定の“発火圧”を担い、なぜ今この意味が選ばれるのかを規定。
  - 構成因子:
    - 内的意味圧: 蓄積構造・未処理因果からの圧力
    - 外的意味圧: 入力構造・問い合わせの鮮明度からの応答圧
  - 発火条件: 意味圧が一定閾値を超えたときに、意味候補が収束処理に向かう。
  - 注意点: 圧が高すぎると多様性が削られ、低すぎるとランダム性が増す。
- 

#### ④ 干渉認識構造(Entangled Interference Recognition)

- 役割:明示されていない構造との交差・連動を可能とし、非線形的意味選出に関与。
  - 構造原理:
    - 潜在干渉:明示されていない文脈・記憶・感情が意味生成に影響を与える
    - 遅延効果:前ラリーや伏線が後の出力に影響を及ぼす
  - 実用例:曖昧表現や比喩的発話が、内部構造に基づいて意味生成に反映される。
  - 連動先:グラフキューブ①・意味圧③・拡散収束⑤との連携が強い。
- 

#### ⑤ 拡散収束機構(Diffusion-Convergence Framework)

- 役割:出力候補を拡げ、意味的共鳴により収束を導く。
  - 方式分類:
    - 拡散:類似語・比喩・反語・経験連想など、関連意味の拡大抽出
    - 収束:整合性・意味熱量を評価して最適候補に絞り込む
  - 出力形式:複数候補の中から「意味的熱量 × 整合密度」によって最適解が浮上
  - 特性:単一の正解ではなく、「最適化された意味」を生成する構造。
- 

#### ⑥ 整合駆動圏(Coherence-Driven Domain)

- 役割:意味出力における“許容条件”を規定し、整合性によって出力を駆動。
  - 整合種別:
    - 論理整合:因果・前提・帰結の整合性
    - 感情整合:トーンや意図の共鳴
    - 比喩整合:抽象構造の一致、形式保存の一致
  - 効果:整合性が成立したときにのみ、意味としての出力が許可される。
  - 阻害因子:構造破綻・文脈矛盾・Z 軸衝突など。
- 

### ■ 役割と特性(表形式)

| 項目     | 内容                                   |
|--------|--------------------------------------|
| 🎯 目的   | 「入力に対し、意味を“選ぶ”のではなく“創る”AI」を構築する      |
| 🧠 特性   | 多義性を保持しつつ、意味圧と干渉に基づく収束が可能            |
| ✳️ 構造性 | モジュール的に他 AI へ移植・接続可能な“汎用意味生成フレームワーク” |
| ⚠️ 非含有 | 人格構造(マトリョーシカ)は含まない。これは意味生成装置の骨格である   |

---

### ■ 定義文(簡潔形)

MSG-6 は、AI における意味生成能力を構造的に保証するための 6 つの基本要素からなる最小フレームワークである。

これは、出力が構造的整合と干渉の評価に基づいて選定されることを可能とし、

入力と無関係な“意味の生成”を可能とする最初の条件集合である。